

### しろいし再発見

白石のまちを歩くと、至る所で歴史の深さを感じます。各地にはさまざまな伝説や言い伝えが残っており、そんな歴史をひもときながらその地を訪ねるのも一興ではないでしょうか。

#### 齋川地区

名薬 奥州齋川孫太郎虫

永保(1081)~1084年)のころ、齋川村に孫太郎という子がおり、5歳のとき重い病氣にかかりました。孫太郎の母は戸はお堂にこもり祈願しました。ある日桜戸の夢枕に「齋川の白石の間の虫(ヘビトンボの幼虫)を食べさせよ」とのお告げがあり、この虫を食べさせたところ見事治ったことがこの薬の始まりとされています。



▲田村神社にある供養碑

齋川の地にはさまざまな歴史が残っていますが、「齋川の孫太郎虫」もそのひとつです。疳の虫(夜泣きやひきつけなど)に効く民間薬「孫太郎虫」の産地として全国的に有名となった齋川。甲冑堂のある田村神社には

孫太郎虫資料館や供養碑が、また今年6月には国道4号沿い齋川字町西浦の「桜戸薬師堂」が新たに建立され落慶式が行われました。ここは孫太郎と桜戸が住んでいたとされる地です。

この伝説を調べる齋川公民館長の保科正信さんは、「孫太郎や桜戸は実際に存在した人物だが、この伝説には謎が多い」と話してくれました。現在では環境の変化などでほとんど捕れなくな



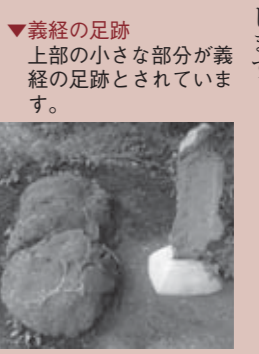
▲桜戸薬師堂

#### 白川地区

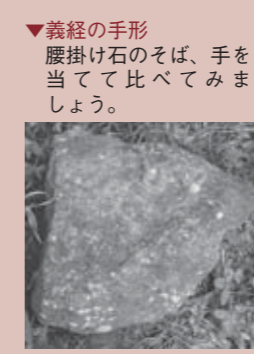
石に刻まれた義経伝説

白川津田地区の赤丸峠付近に、あの源義経公が腰を掛け、手を付いて中丸地区まで飛んでいったという伝説が残っています。義経伝説と言えば日本全国にあります。この地をたどると、不思議にもお尻、手形、足跡の形になった石があるので。足跡は道路沿いにあり、すぐ見付けられますが、腰掛けと手形は、草むらの陰に隠れて見えにくくなっています。普通の

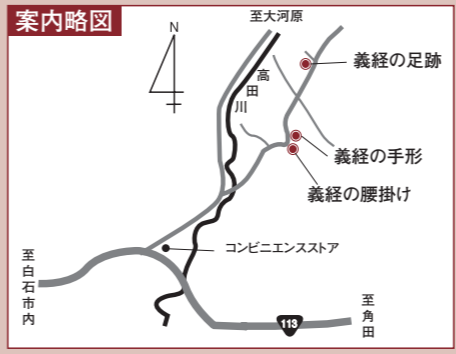
田園風景も、石のそばから見ると、どことなく不思議な感じがします。



▲義経の足跡 上部の小さな部分が義経の足跡とされています。



▲義経の手形 腰掛け石のそば、手を当てるようにみまわすようにしてあります。



案内略図

### 真夏の天体ショー

#### 7月22日「日食」

#### 9時58分ごろから部分日食

7月22日水曜日、テレビや新聞などで報道されている通り、46年ぶりに日本で皆既日食が観察できます。残念ながら皆既日食は鹿児島県などの一部になりますが、本市でも太陽の約3分の2が欠ける部分日食を観察することができそうです。午前9時58分ごろから始まり、最大は11時12分ごろ。終わりは12時30分ごろまで、約2時間30分にわたる天体ショーです。

宇宙の神秘に触れるめったにない機会です。お見逃しなく。

#### 次回(26年後)は白石でも

次に日本で皆既日食が観察できるのは、26年後の2035年9月2日。このときは本市でも皆既日食に極めて近い光景が観察できるようです。



▲2001年6月21日の皆既日食(ザンビアにて)

#### 観察時の注意点

太陽を肉眼やサングラスなどで直接見ることはやめましょう。短い時間でも目を痛めてしまいます。木漏れ日や鏡の反射を利用して間接的に見たり、専用の日食グラスを使ったり安全な方法で観察しましょう。安全な観察方法は、国立天文台のホームページなどでご確認ください。  
ホームページURL  
<http://www.nao.ac.jp/phenomena/20090722/>

#### 流れ星を観察しよう!

#### ペルセウス座流星群

毎年ほぼ安定して多くの流星が流れる「しぶんぎ流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」は「三大流星群」と呼ばれています。そのうちの「ペルセウス座流星群」が、夏の夜空にお目見えします。7月下旬から流星が流れ始め、8月13日未明(12日深夜)が最も多く流れると予想されています。ペルセウス座(北の空カシオペア座付近)の方角のほか、条件が良ければ方角に限らず1時間当たり50個ほどの流星を観察できます。

【出典：国立天文台ホームページ】

### 規則正しい生活を送るために

#### 『早寝』 寝る子は育つ



夏休みだからといって、テレビやゲームもほどほどに。明日の活力を得るためにぐっすり眠りましょう。また、大人の生活パターンに子どもを引き込まないよう注意しましょう。共働きなどで忙しくても、できる範囲で工夫してみましょ。

#### 『早起き』 早起きで気分は上々



人間の体は、夜更かし・朝寝坊が楽にできるようなっているようです。朝の光を浴びることで、体内時計はリセットされます。「早起きは三文の徳」。いつまでも寝ていないで、一日の始まりをすがすがしい気持ちで迎えましょう。

#### 『朝ごはん』 一日のエネルギーを補給



朝ごはんを食べると体全体にエネルギーが行き渡り、脳の働きが活発になります。学力の高い子どもほど基本的な生活習慣が定着しているという調査結果も出ています。家族みんなでおいしい朝を迎えましょう。

### 熱中症にご注意ください

夏休みを満喫するためには体調管理が必要です。同時にそれはとても難しいものです。特に「熱中症」には要注意。熱中症のポイントについて、公立刈田総合病院の堤和泉先生にお話を伺いました。



公立刈田総合病院 小児科長 堤 和泉

近年は地球温暖化、建物の高気密性、都市部におけるヒートアイランド現象などの影響で暑くなる傾向にあります。また、エアコンのある快適な生活に慣れた現代人は暑さに弱くなっています。

最近はお年寄りやお子さんがかりでなく、自分では健康だと思っている方も気分が悪くなり、熱中症の症状で病院を救急受診されるが増えています。熱中症は高温多湿や強い日差し、車内や屋内の無風の環境で起こります。暑さのため体で作られた熱を外に出せず、めまいや筋肉痛、多量の発汗などの症状を

起こします。何もしなければ著しい脱水状態や筋肉のけいれんを起し、命を落とす危険があります。熱中症は、屋外では帽子をかぶり、日陰を利用

用し脱水状態にならないように、水分(塩分を少量含んだもの)をこまめに取ることで予防できます。夏だけでなく、梅雨の晴れ間や秋の急に暑くなった日は、熱中症が起りやすいので気を付けましょう。

暑い所に長い時間いたとき、体の異常を感じたら涼しい所で休み、水分を取りましょう。けいれんや意識が遠のくようなことがあったら、すぐに病院に相談してください。お年寄りやお子さんは、周りの方が気を付けてあげてください。早めに適切な対応を取ることが何よりも大事です。

#### 自分だけの夏休みを体験することの大切さ

子どもたちにとって「体験は学びの出発点」であり、体験に基づく感覚から思考が生まれ、実践に結びつくと言われています。目で見て、手で触れて、直接体験することで子どもたちは大きく成長します。学校で学ぶことはひと味違った経験、そして普段できない計画を立ててはどうでしょう。大人たちでさえ「名前を聞いたことがあるけど行ったことはない」そんな場所が白石にはいくつもあります。

これから迎える夏休み。自分だけの「オンリーワン」の夏休みを家族と一緒に探してみましょ。きっと見付かるはず!

※今回紹介した施設などをご利用される場合は、事前にそれぞれの施設にお問い合わせください。



▲はやねはやおきマンもみんなを応援しているよ!